

令和7年度

第55回群馬県特別支援学校PTA協議会大会

第1分科会

「自立への取組」
～「子どものためのスター事業」を通して～
(主役は子ども!!のPTA行事)

群馬県立二葉特別支援学校

本日の発表

- 1 学校の概要
- 2 PTA組織
- 3 PTAメイン行事～これまでの経緯～
- 4 「R6子どものためのスター事業」
- 5 「R7主役は子ども!!～子どもが躍動するスター事業」
- 6 まとめにかえて



1 学校の概要

- ・ 全国で6番目に設立。小学部中学部からなる肢体不自由教育特別支援学校
- ・ 小学部56名 中学部37名 合計93名(6月1日現在)



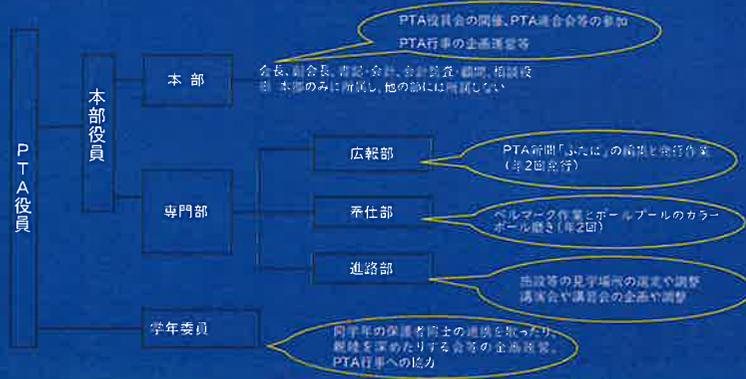
校章について



・「二葉」の葉が未来に向かってすくすくと伸びていく姿。紫色の円は「榛名山」、青色の円は「二の沢川」(校歌の歌詞より)、黄色の円は太陽の光を表している。

・ 児童生徒が自然や保護者、職員、地域の人々に囲まれながら健やかに成長していったほしいという願いが込められている。

2 PTA組織



3 PTAメイン行事～これまでの経緯～

- 令和元年度以前 PTAバザーを行う
- 令和2年度 中止 (PTAバザー)
- 令和3年度 PTAバザーの代替行事を行う (PTA「秋のふわふわプレゼント」)
- 令和4年度 PTAバザーの代替行事を行う (PTA「秋のわくわくプレゼント」)
- 令和5年度 PTAバザーをやめ、新たにPTA行事を行う (PTA「わくわくミニまつり」)
- 令和6年度 新たなPTA行事を行う (PTA「わくわくお楽しみ会～星まつり～」)

R5の活動を考えよう

これまで「子どものために」
と考えてきた…
でも…
子どもはプレゼントをもらう
だけ。いいのかな。教育の場
なのに。



子どもたちを楽しませ
たいな。

令和5年度PTA行事 「PTA秋のわくわくミニまつり」

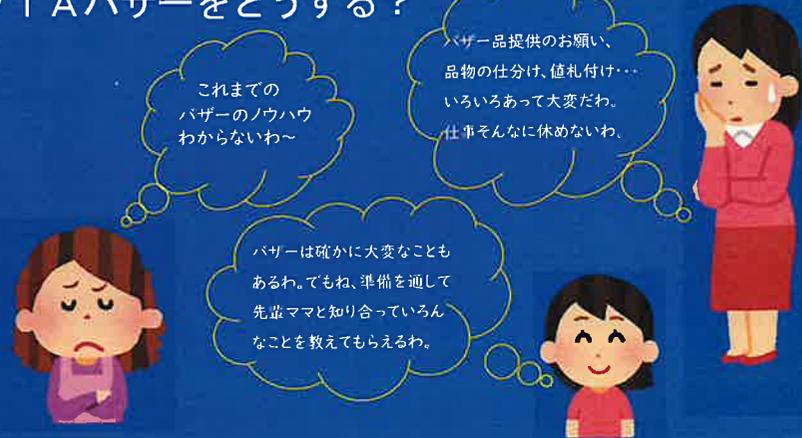
- ・ スタンプラリー
- ・ PTA役員が用意した「魚釣りゲーム」「ひも引き」「くじ引き」に参加
- ・ ゲームの景品は「二葉のロゴ入りミニタオル」と「二葉のロゴ入りミニトートバック」「企業からの協賛品」

令和6年度

・ 令和5年5月8日
コロナ「5類」に移行

- ・ 「PTAバザーをどうする？」
という考え
- ・ コロナ禍の活動内容を
改めて振り返る

PTAバザーをどうする？



R6の活動を考えよう 令和6年度のメンバーで令和6年度の活動を考える

前年度は企業さんに提供品いただいたけど…申し訳ないような…

普段なかなかできないことを体験させてあげたいな。

二葉のロゴ入りタオルのプレゼントも、一人当たり千円かかる。もういらないかな。

ポニー体験、音楽、劇…多感な時期に親子で楽しめるといいな。

引継ぎが難しいよ

仕事があってなかなか話せないよ

プレゼント代どうするのよ



これってもしかして…検討の軸が大人の事情になっている!?

ちょうどその頃学校では・・・

開校65周年記念行事(5月)

- ・「タニケンバンド」(NHK、Eテレ出演の谷本さん率いるバンド)を招待し、コンサートを児童生徒と保護者がともに楽しんだ。
- ・体験の意義の大きさを実感し、「子どもにわくわく感をもたせたい」という思いが膨らんだ。

①見慣れた体育館がライブ会場に!



② 谷本賢一郎さん (Vo.) NHK、Fumingさん(pf.) ノッチさん(Cajon)、まいこさん (Acc.)



③ 名曲「LOVE をプレゼント」 他全9曲





④ 私たちの名前を呼んでくれて「ありがとう」
サインも「ありがとう」

- ・そう!!私たちがやりたかったこと
- ・子どもがわくわくするような体験
- ・学校を盛り上げたい
- ・そして私たち保護者も一緒に楽しみたい



R6 PTA行事
「わくわくお楽しみ会～星まつり～」

- ・「一般社団法人 星つむぎの村(山梨県)」
に「出張プラネタリウム」を依頼
- ・PTA役員が
「ポップコーン作り体験」「綿あめ作り体験」

① 見慣れた体育館が満天の星空に!!
7mドームの中に入って鑑賞



1 呆が者. 子どもが入る写真は(まかしを)入れました。

② 「綿あめ作り体験」
ざらざら、ふわふわ、べとべと、あまい



③ 「ポップコーン作り体験」
ざらざら、ポンポン、芳しい香り



中間評価から気付いたこと

「スター」で
つながってるわ

「タニケンバンド」
コンサート

「一般社団法人 星つむぎの村」
出張プラネタリウム

ミュージカル「星の王子さま」



「テーマ」があったわ！

- ・ 「子どもに何かをしてあげる」という発想から「子どもの望みを叶える」という熱い思いで、学校もPTAも行事を計画、実行してきた。
- ・ 気付いたらそこには共通の「テーマ」があった。

「テーマ」をもってやっつけていこう!!

そう

「子どものためのスター事業」R6



ミュージカル「星の王子さま」
※ 子どものためのスター事業

・ R7.2月25日(火)「権藤説子presents
バリアフリー演劇『星の王子さま』」の公演

※ 権藤説子presentsは、権藤説子さん(福岡市在住、一般社団
法人東京演劇集団風研究所顧問)の基金による公演のこと

① 見慣れた体育館が劇場に！！



② みんなでつくるバリアフリー演劇



演技や台詞の表現方法を勉強

③ 子どもも演者の1人として参加



生徒が地理学者の助手として参加

4 「R6 子どものためのスター事業 (子どもが主役になるPTA行事)」を終えて

- ・ 本物を体験する意義。五感をフル稼働して心が動く。
 - 「自分でやってみたい」「友だちと一緒にならできそう」
 - 「おもしろそう」「不思議」「さわってみたい」「先生に話したい」
 - 「あの人とかかわりたい」等々
- ・ 「主体性」「集団参加」「人とのかかわり」が
「自立と社会参加」の礎

5 「R7 主役は子ども!!」 ～子どもが躍動するスター事業～ 「みつける」「つたえる」「つくる」

【計画案】

- ・ 一般社団法人 星つむぎの村(山梨県)「出張プラネタリウム」を主催
- ・ 東京演劇集団風(バリアフリー演劇)「星の王子さま」

【大切にしたいこと】

- ・ 2年目。子どもも大人も見通しが持てる。
- ・ 子どもたちは当日に向けて準備をする(衣装作り、歌の準備、星座や宇宙について調べる、スタッフさんに伝えたい思い 等)
- ・ PTA役員は「保護者座談会」等で日頃から保護者同士のつながりをつくり PTA役員以外のボランティアを募って子ども主役の行事を支える。

まとめにかえて

- ・ 障害や個性も多種多様で意思の表出もそれぞれ異なるが、子どもが自分で選択し、意思決定できることが自立であると受け止める。
- ・ 子どもがいつでも真ん中にいて、学校、福祉、医療、家庭、地域が連携して、子どもたちの人生が豊かで、笑顔あふれるものとなるよう、PTA活動を推進していきたい。
- ・ PTAの基盤は「つながり」だと考える。それ故に、日頃から「つながり」を意識した活動を専門部等とも共有したい。

ご清聴ありがとうございました

